

防災マップの活用方法について

- 1 川崎市防災ポータルサイトにアクセスし、「防災マップ」をクリックします。

川崎市防災ポータルサイト : <https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp>



- 2 利用規約に「同意」します。

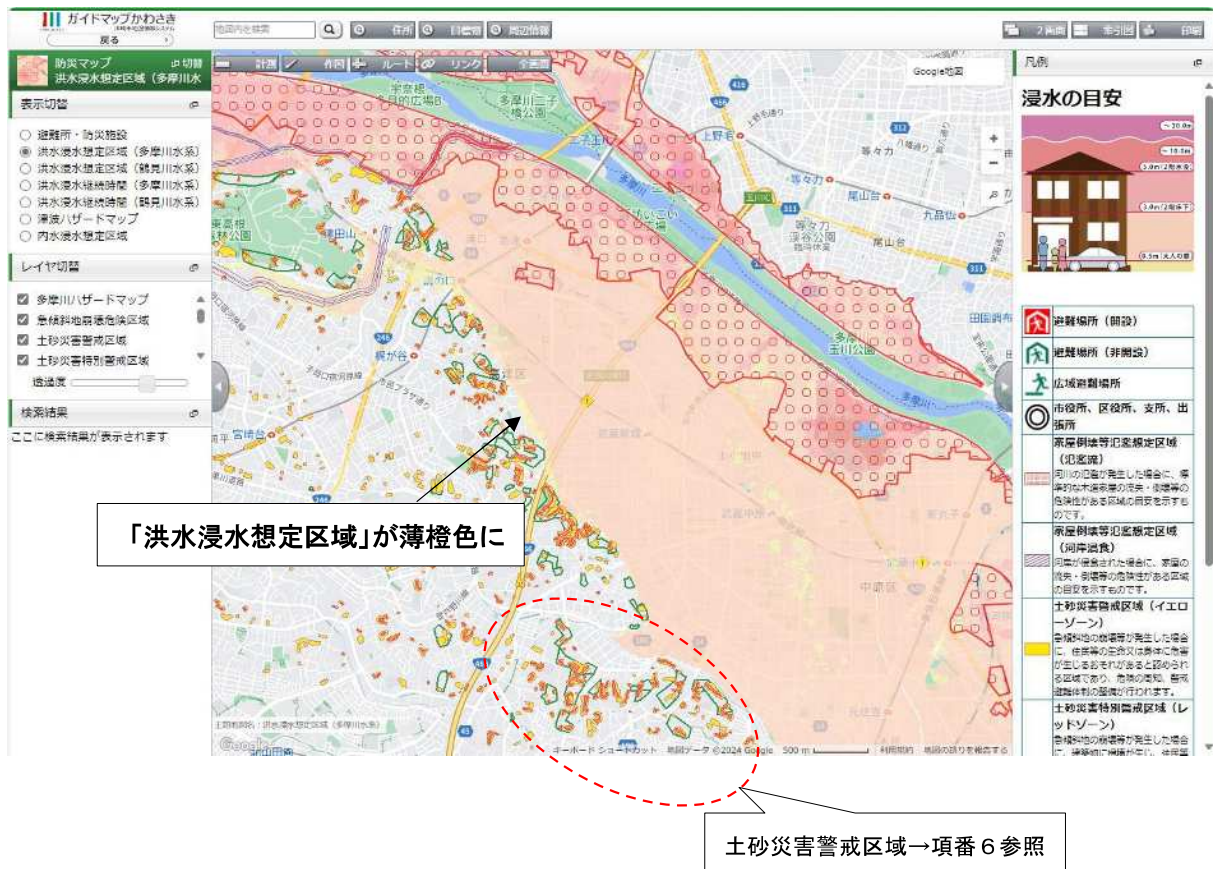


「同意する」をクリック

3 画面左側の「表示切替」から「洪水浸水想定区域」（多摩川水系又は鶴見川水系）を選択します。



4 「洪水浸水想定区域」が薄橙色で表示されます。



- 5 画面上部の「住所」ボタンをクリックすると、画面左側に「住所検索」画面が開き、施設所在地のマップを検索できます。



- 6 風水害に関するマップ上の凡例表示（画面右側）は次のとおりです。

【土砂災害警戒区域に関するもの】

	土砂災害警戒区域（イエローゾーン） 急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン） 急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。
	急傾斜地崩壊危険区域 急傾斜地の崩壊を防止するため、神奈川県が対策施設の設置工事を行うことができる区域です。

【水害に関するもの】

	家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流） 河川の氾濫が発生した場合に、標準的な木造家屋の流失・倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。
	家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食） 河岸が侵食された場合に、家屋の流失・倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。